



七保肉牛共進会

岡田さん優等1席

三重県大紀町

【三重・伊勢】大紀町七保肉牛共進会が22日、同町のJA伊勢肉牛集出荷場で開かれ

優等賞1席に輝いた岡田さんと「あゆまる」(22日「三重県大紀町で」)

た。生産意欲の向上と品質の向上を目的に開いている。雌牛48頭が出品され、優等賞1席には同町の岡田一彦さんが輝いた。岡田さんは3年連続で優等賞1席を獲得した。

「あゆまる」は、体重700キ、体高133センチ、胸囲226センチ。

父が「丸若土井」、母の父が「福芳土井」。400万円(税別)で朝日屋が購買した。出品された48頭のうち17頭が「特産松阪牛」に当たる。

「七保牛」は、地元で肥育されている黒毛和種で、黒毛和種の優れた血統を持つ未經産の雌牛をいう。中でも、兵庫県産(但馬系)の子牛を松阪牛生産区域で900日以上肥育したものを「特産松阪牛」という。

審査に当たった県畜

産研究所の梅木俊樹主査研究員は「背腰の幅、張り、胸の体積感のバランスに加え、皮毛の質も良く、特産松阪牛らしい牛だった」と講評した。岡田さんは「どの牛も手塩にかけて肥育してきた。3年続けて1席を受賞できたことがうれしい」と受賞を喜んだ。

その他の優等受賞者は次の通り。

▽2席＝鳥田真吾▽3席＝岡田一彦▽4席＝中村畜産▽5席＝中村畜産